

平成28年 8月 5日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号：8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成28年 7月次 月次概況 (速報) のお知らせ

平成28年 7月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成 27 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	593	440	534	470	456	544	510	552	558	464	387	490
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	164,450	87,835	93,958	80,634	80,504	92,881	83,564	89,674	95,887	71,822	55,460	64,288
顧客口座数 (単位：口座)	253,179	254,732	256,494	258,189	259,825	261,736	263,685	265,521	267,463	268,916	270,219	271,544
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	48,114	47,653	47,961	48,896	48,707	50,101	50,236	48,253	52,815	51,725	50,355	49,480

年 月	平成 28 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位：百万円)	572	559	529	473	468	738	551					
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	92,445	96,278	70,156	74,405	68,455	91,113	88,556					
顧客口座数 (単位：口座)	272,521	274,164	275,538	276,891	278,360	280,816	282,791					
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	60,316	60,224	59,769	59,413	59,478	57,133	57,278					

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成20年 5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
4. 平成23年 8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

< 7月次の概況 >

7月の外国為替市場は、米ドル／円については、1ドル＝103円台前半で取引が始まり、日米欧の軟調な株式市場を背景にリスク回避の円買いが優勢となり、8日には100円丁度の水準をつけるなど、円高ドル安で推移しました。その後、米国経済指標の良好な結果や、参議院選挙における与党の大勝等による日経平均株価の大幅な回復を受けてドル高円安に転じ、15日に発生したトルコでのクーデターにより一時円が買われる場面もあったものの、明けて18日にはクーデターが早々に鎮圧されたこともあり21日には月の高値となる107円台半ばをつけました。その後は、日銀の追加金融緩和や政府による経済対策をめぐる思惑が交錯するなか、値動きの荒い展開となりましたが、29日に開催された日銀金融政策決定会合での決定内容が事前予想の範囲内のものにとどまると急激な円高ドル安となり、102円台前半で月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、対円では米ドル／円と同様値動きの荒い相場展開となり、EU離脱に関する英国民投票の影響があった前月には及ばなかったものの、対円通貨ペアを中心に高い変動率となり、米ドル／円を含めての全体としての変動率も極めて高い変動率であった前月に次ぐものとなりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、前月に引き続き高い水準を維持し、前月比3%減少の885億通貨単位となりました。一方、営業収益は、取引高当たり収益性が極めて高い水準となった前月からの反動による低下から前月比25%減少となったものの、551百万円となりました。また、顧客基盤については、顧客口座数は前月に引き続き大幅な為替変動により外国為替相場に注目が集まったこともあり、前月比1,975口座増加の282,791口座と堅調に増加した一方、外国為替取引預り証拠金は、前月末比145百万円増加の57,278百万円とほぼ横這いで推移しました。なお、このうち、BtoB取引先である金融法人からの預り証拠金は、前月末比231百万円増加の8,900百万円であります。

以 上